

## ✿平成28年度より院内認定看護師制度がスタートします！

院内認定看護師制度は、特定の領域において習得した知識・技術を実践に活かし、臨床における実践モデルとなり、看護の質の向上に貢献する看護師の育成を目的としています。平成28年度は、感染管理分野と褥瘡ケア分野の2コースを開講いたします。

応募期間：平成28年1月4日（月）～平成28年2月29日（月）

研修スケジュール、応募資格、応募方法は募集要項をご確認ください。



### ■ 感染管理分野

【目的】

所属部署において実践モデルとなり、感染管理活動を実践、推進できる人材育成

【コース概要】 全10回コース  
1回60分

【定員】 3名

### ■ 褥瘡ケア分野

【目的】

所属部署において実践モデルとなり、褥瘡ケア活動を実践、推進できる人材育成

【コース概要】 全10回コース  
1回60分

【定員】 3名

## ■ TOPICS 今回のテーマ

今回は「感染管理認定看護師」と「皮膚・排泄ケア認定看護師」についてご紹介いたします。

### ■ 感染管理認定看護師のご紹介

感染管理認定看護師は、専門的な知識と技術を用いて、患者さま・来訪者・医療従事者・施設・環境を対象に、感染に対するリスクを最小限に抑えるために、正しくかつ効率的な感染管理を計画、実践、評価し、提供するサービスの質の向上を図るといった重要な責任をもちています。

### ■ 皮膚・排泄ケア認定看護師のご紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師は、健康を害した皮膚ならびに皮膚障害のリスクの高い脆弱な皮膚に対するスキンケアを中心に、褥瘡や下肢潰瘍などの創傷管理、人工膀胱や人工肛門および失禁などの排泄に関わる分野を専門とし、皮膚障害予防からケアの実践、排泄管理についての知識や技術を用いた患者・家族の自己管理及びセルフケア支援、スタッフ教育を行っています。

# 感染管理認定看護師の活動



## ◆感染管理認定看護師の役割

感染管理認定看護師の役割は、医療関連感染のサーベイランス（調査・監視）の実践と施設の感染状況の評価および感染予防・管理システムの構築です。

### TOPIC①：標準予防策（スタンダードプリコーション）を再確認しましょう！

#### ■標準予防策（スタンダードプリコーション）とは？

・標準予防策は、1996年 全米疾病予防管理センターCDCが隔離予防策のためのガイドラインで発表した予防策の総称です。その概念は、「感染症の有無にかかわらず、すべての人々において汗を除く血液、体液、粘膜、損傷した皮膚は何らかの感染症があるものとして取り扱う」というもので、これは患者のみならず、医療者、職員、面会者、学生等病院に出入りするすべての人々が対象です。感染症には、潜伏期間のあるものや検査を実施しなければ判明しないものがあります。日頃から標準予防策をとり感染から身を守りましょう！



#### 標準予防策の具体的な対策

- ① 日常的な手指衛生
- ② 個人防護具の適切な使用  
マスク、シールド付きマスク、手袋、エプロン・ガウンなどを予防的に着用
- ③ 呼吸器衛生・咳エチケット  
呼吸器症状のある人はマスクを着用、骨髄穿刺などの処置時にマスクを着用
- ④ 医療器具の処理
- ⑤ 鋭利器材の処理
- ⑥ 環境整備
- ⑦ リネンの処理

予めすべての感染症に対応できる方法をとります  
注) 隔離予防策では、個人防護具の着用と環境整備の方法が異なります

### TOPIC②：ご家庭でのノロウイルスの対策

#### ■ノロウイルスの特徴

- ◇ 少量（100個以下）でも発症する
- ◇ アルコールが効きづらい
- ◇ 75℃1分の加熱で死滅する
- ◇ 治療法はないが、症状は2日程度で消失する



- 市販品では、液体漂白剤、カビ取り洗剤、洗濯槽クリーナーなどに次亜塩素酸ナトリウムが含まれています。とくに便利なものは、次亜塩素酸ナトリウム含有のキッチン用の泡除菌スプレーです。発症時は、トイレの消毒にも活用できます。
- 漂白剤は対象物を脱色させてしまうため、木材、カーペット、ソファなどが汚染された場合は、スチームアイロンで加熱処理することができます。



### TOPIC③：CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科感染症)ってなあに？

- ・「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症は、グラム陰性菌による感染症の治療において最も重要な抗菌薬でありメロペネムなどのカルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム剤(セフェム系の広域なもの)に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称です。CREは主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに多様な感染症を起こし、院内感染の原因となります。



## ◆皮膚・排泄ケア認定看護師の役割

皮膚・排泄ケア認定看護師は、健康を害した皮膚ならびに皮膚障害のリスクの高い脆弱な皮膚に対するスキンケアを中心に、褥瘡や下肢潰瘍などの創傷管理、人工膀胱や人工肛門および失禁などの排泄に関わる分野を専門とし、皮膚障害予防からケアの実践、排泄管理についての知識や技術を用いた患者・家族の自己管理及びセルフケア支援、スタッフ教育を行っています。できるだけタイムリーに対応し、病棟看護師と連携を図り、人としての尊厳を大切により良い看護実践の提供を行うことを心がけています。



## 今回の TOPIC : スキンテア（皮膚裂傷）の予防と管理

皆さん、皮膚圧迫が加わっていない箇所にもかかわらず、患者さんの皮膚が内出血していた、裂傷していたという経験はありませんか？「スキンテア」という言葉をお聞きになったことはあるでしょうか？

「スキンテア Skin Tear (皮膚裂傷)」とは、「摩擦・ずれによって皮膚が裂けたり、剥がれたりする真皮深層までの皮膚損傷（部分層損傷）のことを言います。

◇ 具体例：四肢がベッド柵に擦れて皮膚が裂けた（ずれ）

医療用ネームバンドが擦れて皮膚が裂けた（摩擦）

テープを剥がすときに皮膚が裂けた（ずれ）

● 除外例：持続する圧迫やずれで生じた創傷と、失禁によって起こる創傷は除外する



高齢者の皮膚は、皮膚のバリア機能が低下し脆弱です。糖尿病や腎不全などの基礎疾患、ステロイド剤、化学療法や放射線療法、抗凝固剤や抗血小板剤などによってさらに脆弱になります。そのため、スキンケア（皮膚の清潔保持、保湿）が重要です。ベストプラクティスでは、特に保湿剤の塗布は「行うように勧められる」と推奨されています。低刺激性でローションタイプなどの伸びのよい保湿剤を1日2回、摩擦がおこらないように毛の流れに沿って押さえるように塗布します。

また、皮膚の状態に合わせて、四肢の皮膚を露出させないようにアームカバーやレッグウォーマーなどで保護します。医療用リストバンドでは、筒状包帯を使用し皮膚保護を行い、麻痺と浮腫の無い部位に装着します。また、患者周囲の療養環境を整理しておくことも重要です。ベッド柵にカバーをしたり、患者の移動時はスライディングボードを使用することもスキンテアの予防になります。

スキンテアが発生した場合

- ① 止血する
- ② 洗浄する（血腫がある場合は血腫を洗浄除去する）
- ③ 可能であれば皮膚または皮弁を元の位置に戻す
- ④ 創傷の深さに応じて、外用薬と非固着性ガーゼやドレッシング材で保護する



★ スキンテアは、日々の行動やケアによって容易に発生する創傷であることを認識し、予防ケアに努めていきましょう。何か困ったことがありましたら、お気軽に声をかけてください。





## ■ 今回のオススの書籍をご紹介します！

こちらはがん化学療法をはじめ、放射線治療、がん末期患者の皮膚障害をまとめたものです。がん看護専門看護師と皮膚・排泄ケア認定看護師の視点からがん患者に特化した内容になっており、症例や写真が多く、アセスメントとケアのポイントが詳細に記されています。是非、参考にしてください。

### 「がん患者の皮膚障害」

出版社：サイオ出版

著者：祖父江 正代

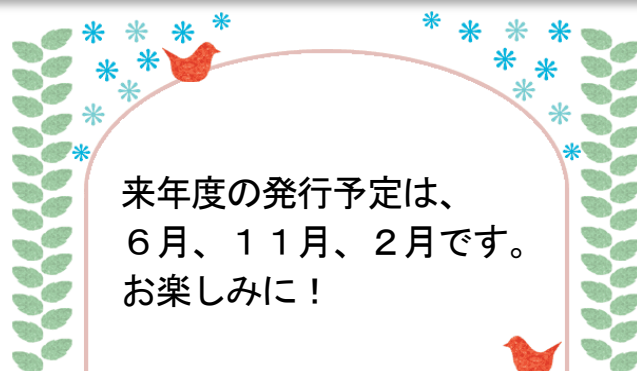
発行年：2015年8月



### 編集後記

平成28年度は、院内認定看護師育成という新たな取り組みにより、多くの職種の方にご協力いただくことと存じます。

みなさまのお力を患者さんに還元すべく、努力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



来年度の発行予定は、  
6月、11月、2月です。  
お楽しみに！

公立学校共済組合 関東中央病院 看護部

